

えかぶお

50号

2018年

平成30年8月20日発行



▶ オタモイデイサービスセンターでの日常のひとコマです。
職員からの問いかけに自然と笑みがこぼれます

社会福祉法人 小樽育成院 運営理念

基本的人権の確保と擁護

～人間を大切にするサービスの提供～

利用者様の自立した生活を支援する
ためのサービスを提供します。

利用者様の生活と生き方を尊重した
サービスを提供します。

利用者様中心のサービス
を提供します。



発行／ 社会福祉法人 **小樽育成院**

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号

TEL: (0134) 28-2500 (代) FAX: (0134) 26-2476

URL: <http://www.otaru-ikuseiin.com> **育成院** 検索

社会福祉法人小樽育成院 平成29年度決算概要について

法人としての決算概要

平成29年度は社会福祉法の改正への対応を基本として事業計画を立て、
その中で四つの重点目標を掲げ事業運営にあたりました。

1 法人組織統治（ガバナンス）の確立の
取り組み

- ◆平成29年4月1日より施行した社会福祉法の改正に伴い、新たな評議員・理事・監事の体制整備と関連する規程の整備を行い、業務執行の明確化を行いました。
- ◆法人運営の法令順守と財務管理については、外部の会計事務所と税務会計顧問契約を行い、事務処理の適正化及び関係法令の順守に努めました。

2 サービスの質向上への取り組み

- ◆理事長より全職員を対象に社会福祉法人と職員の使命と役割についての講義を実施し、法人理念の浸透を図ったほか、苦情相談委員会と虐待防止委員会を開催し、外部委員から適切なアドバイスを受け不適切事例の予防に取り組み、サービスの質の向上を図りました。

3 人材の確保と育成に向けての取り組み

- ◆職員確保の取り組みでは、従前から実施している介護福祉士養成校や高校への採用活動のほか、新たに新卒大学生ヘインターネットによる求人情報への情報提供と関連する職場説明会への参加を実施しましたが、ともに採用内定に結びつく成果は得られませんでした。
- ◆将来の福祉人材確保のため、経済的支援と資質向上を目的に就学資金貸付制度の規程の整備に着手しました。
- ◆養成校や高校との連携を強化し、見学や出前授業、ボランティアなどによる福祉現場の情報提供の取り組みを検討・提案いたしました。
- ◆適正な職員の待遇改善としては、コンサルタント会社と契約を行い、給与制度を含むキャリアパス制度全体の見直しに着手しました。

4 地域との信頼と協力を得るための取り組み

- ◆従前からの地域活動のほか、本年度は広報紙「えがお」の発行回数を増やし、年3回の発行としたことに加え、社協まつりへの参加により更なる情報発信を行いました。
- ◆「オレンジかふえ」をやすらぎ荘わいわい広場にて開催し、地域の方々への資源の提供を通じ、開かれた法人運営に努めました。
- ◆平成30年に法人創立120周年を迎えることから、市民や関係者が、法人事業に対する理解を深めることを目的に、記念事業及び記念誌発行の準備作業に着手しました。
- ◆地域の様々なニーズへの貢献を目的として、小樽市内で活動する社会福祉法人の協働による「社会福祉法人懇話会しあわせネットワーク・おたる」の設立呼びかけ法人の一員として、設立準備と運営にあたりました。

●平成29年度 社会福祉法人小樽育成院 決算報告

平成30年3月31日現在

貸借対照表の要旨

(単位：円) 事業活動計算書の要旨

(単位：円) 資金収支計算書の要旨

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		サービス活動収益	1,116,204,955	事業活動収入	1,123,260,369
流動資産	466,422,773	サービス活動費用	1,071,107,538	事業活動支出	1,004,235,683
固定資産	1,588,721,673	サービス活動増減差額 (1)	45,097,417	事業活動資金収支差額 (1)	119,024,686
(基本財産)	1,378,289,296	サービス活動外収益	7,055,414	施設整備等収入	0
(その他の固定資産)	210,432,377	サービス活動外費用	3,722,749	施設整備等支出	27,875,858
資産の部合計	2,055,144,446	サービス活動外増減差額 (2)	3,332,665	施設整備等資金収支差額 (2)	△ 27,875,858
負債の部		経常増減差額 (3)=(1)+(2)	48,430,082	その他の活動収入	2,423,551
流動負債	101,490,530	特別収益	0	その他の活動支出	41,826,861
固定負債	312,099,860	特別費用	10	その他の活動資金収支差額 (3)	△ 39,403,310
負債の部合計	413,590,390	特別増減差額 (4)	△ 10	当期資金収支差額合計 (4)=(1)+(2)+(3)	51,745,518
純資産の部		当期活動増減差額 (5)=(3)+(4)	48,430,072	前期末支払資金残高 (5)	377,690,725
基本金	222,861,910	前期繰越活動増減差額 (6)	489,472,046	当期末支払資金残高 (6)=(4)+(5)	429,436,243
国庫補助金等特別積立金	817,603,050	当期末繰越活動増減差額 (7)=(5)+(6)	537,902,118		
その他の積立金	91,247,059	基本金取崩額 (8)	0		
次期繰越活動増減差額	509,842,037	その他の積立金取崩額 (9)	2,000,000		
純資産の部合計	1,641,554,056	その他の積立金積立額 (10)	30,060,081		
負債及び純資産の部合計	2,055,144,446	次期繰越活動増減差額 (11)=(7)+(8)+(9)-(10)	509,842,037		

純資産の部
・「基本金」は事業開始等に受けた寄付の額。
・「国庫補助金等特別積立金」は施設整備等のために受けた補助金等の額。
・「その他の積立金」と「次期繰越活動増減差額」は法人が自ら生み出した蓄積額。
・減価償却費はサービス活動費用の中に計上。

※決算報告の詳細については、社会福祉法人小樽育成院や全国社会福祉法人経営者協議会のホームページでご覧いただけます。

養護老人ホーム
小樽育成院

小樽市オタモイ1丁目20番20号
TEL01342610162
FAX01342612874



講師の奏でるハーモニカの音色に、
クラブ員の皆さんはうっとりです。

育成院では、措置施設と介護保険制度による特定施設の事業を行っています。事業の運営をみると、平成28年10月に変更となった特定施設部門の平年化により介護保険収入が増加したため、収入全体では前年度に比べて増加しました。また、老朽化した施設の改修などに対応するため、修繕積立金の積立を行いました。

人材の確保では、介護職員の採用が厳しい中、新規採用者と中途採用者等では必要人員を確保することができました。そのほか、腰痛対策として介護リフト導入に向けたデモンストレーションを行うなど、働きやすい職場づくりに努めました。

また、講師のハーモニカ演奏に合わせて歌を楽しむ「ハーモニカ演奏を愉しむ会」が新たにクラブに加わり、毎月1回クラブ員の皆さんがハーモニカの優しい音色に癒されるひとときとなりました。

特別養護老人ホーム
やすらぎ荘

小樽市オタモイ1丁目20番18号
TEL01342812500
FAX01342612476



ショートステイの方も楽しみにしている
歌サークルの風景

毎年ある事業報告の中では、経営的観点から稼働率に関する評価・分析に注目が集まります。やすらぎ荘では平成29年度、短期入所生活介護（以下・ショートステイ）の稼働率が大幅に減少してしまいました。その要因の一つにマンパワー不足があり、介護職員の人材難は当施設でも例外ではありません。今後の安定的運営に向けた取り組みが急務になっています。

やすらぎ荘のショートステイは15室あり、10ユニットの中に居室が混在している構造となっています。全室居室が整備され、利用者様からは気兼ねなく利用できるとの声をいただいています。平成16年以降の改築からこの体制で運営していますが、様々な課題が存在する中、これまでの実践で得た強みやさらなる工夫を凝らしながら、地域のニーズに応えられるよう引き続き努力してまいります。

オタモイ
デイサービスセンター

小樽市オタモイ1丁目20番19号
TEL01342611116
FAX01342611129



センター前のミニひまわりの前で
記念写真

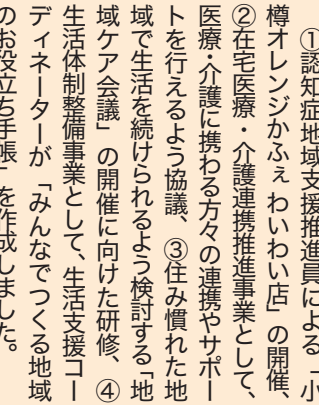
オタモイデイサービスセンターでは、全利用者様を対象とした「満足度アンケート」を実施したところ、約9割の方が満足との回答でしたが、食事についての不満の記述が多く見られたことから、改めて「食事についての嗜好調査」を行いました。

その結果は、「好みの食事は出てきますか?」の問いに、出てくるが73%、あまり出ないが22%であり、「味付けは満足されていますか?」の問いには、満足しているが78%、どちらともいえないが18%、不満が2%でした。さらに、「一番好きなメニュー料理はなんですか?」の問いには、魚料理が48%、肉料理が41%で、若干魚料理の方が好まれる傾向にあることがわかりました。また、食べたいものを自由に記載していただいたところ、カルボナーラなどのおしゃれな料理の希望もあり、今後の食事のメニューの参考となりました。

今後も、多くの利用者様に満足していただけるよう、食事だけではなく、ケアの充実も図ってまいります。

オタモイ
ケアプランセンター

小樽市オタモイ1丁目20番18号やすらぎ荘内
フリーダイヤル012015141294
FAX013426108894



センター前のミニひまわりの前で
記念写真

平成29年度の給付管理件数は月平均135件で、適切な運営に努めたところです。

毎週の事業所内ミーティング、月1回の困難事例検討会を通して支援の資質・専門性の向上を図り、情報の共有を通じて、担当介護支援専門員の不在時でも適切な対応ができました。今後も事業所内、地域包括支援センター、医療機関、その他介護支援事業所との連携を図り、利用者様が住み慣れた地域でその人らしく生活できるように支援に努めてまいります。

小樽市北西部
地域包括支援センター

小樽市オタモイ1丁目20番18号やすらぎ荘内
TEL01342812522
FAX01342612523

地域包括支援センターに機能強化事業が加わり、以下のように具体的に取り組みを始めました。

- ①認知症地域支援推進員による「小樽オレンジかふえわいわい店」の開催
- ②在宅医療・介護連携推進事業として、医療・介護に携わる方々の連携やサポートを行えるよう協議
- ③住み慣れた地域で生活を続けられるよう検討する「地域ケア会議」の開催に向けた研修
- ④生活体制整備事業として、生活支援コーディネーターが「みんなでつくる地域のお役立ち手帳」を作成しました。

創立百二十周年記念事業を終えて

理事長 福森 和千代

社会福祉法人小樽育成成院は明治31年に中島武兵が小樽孤児院の看板を掲げて多くの子供たちを育み、戦後は高齢者の命と暮らしを守ってまいりました。明治・大正・昭和・平成の120年間に亘り、道内の先駆的な社会福祉法人として小樽市民の福祉増進に努めてまいりました。

この度、7月7日に小樽マリノホールにて創立120周年の記念事業を行いましたところ、法人関係者、団体、市民各位多数の皆様のご参加をいただき、無事終了いたしました。

第一部では小樽市総合博物館長石川直章氏が「育成院から見た小樽」と題し、明治期の小樽の繁栄と慈善活動が萌芽した社会的背景について講演されました。第二部では感動の映画「ケアニン」を上映し、若い介護職員の成長を通して介護や福祉の仕事の素晴らしさを感じていただきました。さらに2年がかりで準備してきた「記念誌」を発行し、関係者に配布いたしました。

本来ならば、節目の周年行事として関係者

をお招きして祝賀会を催すところでありますが、今日当法人があるのも市民の幅広いご支援があったからであり、その感謝の気持ちを表すべく広く一般市民を対象にこの度の記念事業を行ったところであります。

日本社会は少子高齢化が進行、特に小樽市は加速度的な人口減少が想定されています。福祉・介護事業においても対象者の増加や担い手不足の問題が論じられ、厳しい時代になります。そのような状況においても、私たち

の先達が艱難辛苦を乗り越え、今日に至っていることに想いを馳せ、時代の変化に伴って発生する様々な社会的ニーズに対応し、小樽にある社会福祉法人として小樽市民の福祉増進に貢献してまいれる所存です。

関係各位におかれましては旧に倍して一層のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。ことに感謝いたします。



ケアニン 上映会



第二部は映画「ケアニン」あなたでよかった」の上映会を開催、第一部に引き続き、多くの方々に参加いただきました。この「ケアニン」とは介護、看護、医療、リハビリなど人の「ケア」に関わり、仕事に誇りと愛情をもって働いている全ての人を指すそうです。映画では、新人介護職員が認知症高齢者やその家族との関わりを通じ、働くことの意味やケアの苦悩、人と人、人と地域とのつながりの尊さが描かれており、心温まる感動のストーリーとなっています。この中で語られる言葉は、実際の介護現場からとった言葉でもあるようで、一つ一つの言葉が心に響いてきます。懸命にケアと向き合う主人公の姿に、涙を流される方もいらっしゃいました。

介護の仕事は、3K（きつい、汚い、危険）のイメージが先行しがちですが、今回の上映会を通して、そこから得られる楽しさや、やりがいを感じるようになっていただくことができたのではないかと思います。今回ご覧になれなかった方々にも、是非「ケアニン」をご覧いただき、ケアの温かさを感じていただきたいと思います。

記念誌発刊



この度、創立120周年記念事業の一環として創立から現在までの足跡を記録にとどめるため、小樽市総合博物館の協力を得まして、創立120周年記念誌「永遠に」を発刊しました。

発刊にあたっては実行委員全員が一丸となり、その歴史をできるだけわかりやすく、興味を持っていただけるように心がけました。

私自身も入社して数年しか在籍しておりませんが、このような節目の記念誌の発刊に携わることができ、大変光栄に感じております。また、今後130周年・140周年と更に輝かしい歴史を刻んでいけるよう、今後なお一層努力してまいりたいと考えております。



記念講演・上映会を終えて

社会福祉法人小樽育成成院と書かれた名刺を差し出すと、「高齢者の施設なのに、なぜ『育成院』なの？」と問われることがあります。当法人は、明治31年に小樽孤児院として発足、後に現在の「小樽育成成院」となりましたが、現在、当時を直接知る人はおらず、昭和22年に育児部が廃止されてからも70年が経過しています。

この度の記念講演にて、過去から今日に至るまでの当法人の歩みを振り返り、冒頭の質問に対する答えを再認識することができました。また、『ケアニン』上映会にて、現代の高齢者ケアを再確認することで、当法人のこれからにつながる式典として終えることができましたと思います。

120周年という節目を向かえ、今後、全職員一丸となり、一層社会福祉の増進に取り組む所存でございます。今後とも、なにとぞご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本式典にご参加していただきました方々にお礼申し上げますとともに、ご協力いただきました皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

社会福祉法人小樽育成院で 実施した主な年間行事

【法 人】…法人全体
【育 成 院】…小樽育成院
【やすらぎ】…やすらぎ荘
【デ イ】…オタモイデイサービスセンター
【地域包括】…北西部地域包括支援センター

4月
April

【育 成 院】
エンジョイクラブ
【やすらぎ】
歌・花サークル、
茶話会(毎月)

【デ イ】
調理レク(おやつ作り)
【地域包括】
事業所向け広報紙
「ニコリティ」
(4月、8月、12月発行)

5月
May

【法 人】
理事会・評議員会
【育 成 院】
花見、
パークゴルフ始球式

【デ イ】
音楽セラピー
【地域包括】
認知症地域支援
推進員部会

6月
June

【法 人】
オタモイ唐門祭り
【育 成 院】
龍宮神社神輿

【デ イ】
合同作品展
【地域包括】
消費者被害防止
ネットワーク会議

7月
July

【育 成 院】
運動会、管内ゴルフ大会
【デ イ】
パークゴルフ

【地域包括】
介護予防サポーター交流会、
オレンジかふえ「わいわい店」
(毎月1回)

8月
August

【法 人】
合同慰霊祭、地藏尊祭、
盆踊り、花火大会
【育 成 院】
ハーモニカ演奏

【やすらぎ】
中庭昼食
【地域包括】
地域向け「にこりてい」
(8月、11月、2月発行)

9月
September

【法 人】
小樽潮太鼓演奏
【やすらぎ】
敬老の日行事
【地域包括】
地域ケア会議推進会議

10月
October

【法 人】
育成院神社祭、
法人町会合同
防災訓練、
介護相談フェア
【やすらぎ】
中央幼稚園来訪

【デ イ】
秋のドライブ
【地域包括】
在宅医療介護連携
相談支援部会

11月
November

【法 人】
法人役員会
【育 成 院】
ダンディ柴田漫談、
看取り研修

【デ イ】
群衆の会
【地域包括】
高齢者虐待防止
ネットワーク会議

12月
December

【法 人】
苦情相談委員会、
虐待防止委員会
【育 成 院】
クリスマス会

【やすらぎ】
クリスマス会
【デ イ】
クリスマス会
【地域包括】
小樽市地域包括
支援センター事例検討会

1月
January

【育 成 院】
獅子舞
【やすらぎ】
獅子舞、初釜

【デ イ】
新年会
【地域包括】
認知症初期集中支援
チーム事例検討会

2月
February

【育 成 院】
雪あかりの路、
火災訓練
【やすらぎ】
雪あかりの路

【デ イ】
鍋の日
【地域包括】
生活支援体制整備
協議会

3月
March

【法 人】
理事会・
評議員会
【育 成 院】
優至会空手演武

【やすらぎ】
夜間想定避難訓練
【デ イ】
雛祭り
【地域包括】
オタモイ団地意見
交換会



3月 雛祭り



10月 秋のドライブ



11月 群衆の会



11月 看取り研修



12月 クリスマス会



1月 獅子舞



2月 鍋の日



2月 雪あかりの路



4月 歌・花サークル



5月 音楽セラピー



6月 龍宮神社神輿



6月 合同作品展



7月 オレンジかふえ「わいわい店」



9月 敬老の日行事

8月 地藏尊祭

第10回

「唐門祭り」を開催

今年も多くの皆さんに楽しんでいただきました。

今年も6月16日（土）に「唐門祭り」を開催しました。

この祭りは、オタモイ町会と当法人の合同で開催したイベントを通じて、オタモイ地域の皆様と入居者様などの交流を図るとともに、当法人の事業活動にも理解を深めていただくもので、今年で10回目となります。

祭りは午後1時から始まり、晴天であつた天気が時間の経過とともに肌寒く感じられる中、今年も町会・法人・小樽身障者協会等による焼きそば・たこ焼き・豚串・飲み物などを販売する



看板の前で、はい、チーズ

屋台コーナー、射的・ヨーヨー釣り・くじ引きなど子供たちに人気の高い縁日コーナー、ステージな



優雅な踊りのハワイアンダンス

どで、皆さんに楽しんでいただきました。ステージのパフォーマンスを順に紹介し

ますと、可愛いオタモイ龍徳保育園の園児さんによるお遊戯、町会のカラオケクラブの皆さんによる熱唱カラオケ、ゆったりとした踊りのハワイアンダンス、優至会北海酒井道場の皆さんによる空手演武、また今回が初参加となる小樽商科大学の「応援団」の皆さんは、団長が団員の「ヨイショ」のかけ声とともに片足20kgにもなる大きな下駄を軽々と揚げ移動する姿や、檄文（げきぶん）を読み上げる「団長檄」は見事なものでした。ラストは小樽商科大学「翔楽舞」の皆さんによる華麗なヨサコイ演舞が行われました。



小樽商大「翔楽舞」のみなさんによる演舞は圧巻でした。



優至会北海酒井道場のみなさん、気合いが入ってますね。

そのほか、オタモイ消防署による消防車の展示や火災報知機の啓発活動なども行われました。

終わりになりますが、お祭りを支えていただいた地域の方々、コープさっぽろ虹の会、三期会、小樽市立高等看護学院生の皆さんにご協力いただきありがとうございました。当法人では今後とも地域の皆様に愛されるお祭りにしてまいります。

編集後記

7月前半は雨続きで寒い日も多かったのですが、ここに来てようやく夏本来の暑い日が増えてきました。本州では、連日猛暑の報道があり、多くの熱中症の患者さんが出ているとのことですが、北海道でも、室内などの風通しの悪い所では、熱中症の危険性があるため気を付けてほしいものです。

また、例年に増して災害がとて多い年感じます。中国地方の豪雨災害や各地で大きな地震も頻発しています。小樽は、地盤が固く大きな地震も少なく、津波の心配もないので安心だとの声が多く聞かれます。しかし、過去に小樽でも、大きな地震や津波などの災害があつたと記録にあります。

小樽市のホームページに「小樽市防災マップ」があります。もしも、まだ見たことがない方は、ぜひ自宅のある場所が災害の危険地域になっていないか？災害があつた場合に避難する場所はどこか？などを確認してみたいかがでしょうか？

（K・Nのつがやき）